

時局に対する提言

昭和五十一年八月二十九日、箱根で開かれた
宏池会青年研修会での講演全文。党のガバナ
ビリティーの回復を強調。『風塵雜俎』に収録

今年もまた、全国各地から同志各位をむかえて、第十一回の研修会をこの清潔で、美しい箱根の地で持つことができ、たいへんうれしく思います。世界のなかでは動乱に明け暮れている国もございませう。飢えに泣いているところもありますが、お互いがこうして静かで清澄な空気のなかで、ものを学ぶことができることは幸せであると思えます。また、この会に忙しい衆参両院の先生方のご出席を得たこと、そして、秘書団の方々の熱心なそして周到な援助を得ましたこと、それよりも何よりも、有力な報道陣の各位が道を遠しとせずこの地までお出でをいただいたておりますことに對しまして、この機会に厚くお礼を申し上げる次第でございます。

先ほど小川会長からもお話がありましたように、今日、自由民主党はたいへんめんどいな状況に相成っております

し、みなさんもまた、いたく心痛いたしておられることと思つてあります。しかしながら、われわれの自由民主党は、結党以来二十年有余にわたり、責任ある政権政党といまして、国民の期待に應えて、この困難な戦後経営のなかにおいて幾多のみるべき成果を上げてきたと思つてあります。世界各国との国交の回復、わが国をめぐる平和と安全の確保はもとよりでありますけれども、経済の復興と発展、国民生活の充実と向上、そういうことにつきまして、みるべき成果を上げて国民の期待に應えた輝かしい実績をあげることができた政党であると自負いたしております。そればかりでなく、こういう困難な時に開放的な民主体制を堅持しながら、このことを成し得たことに対して、私どもは深い誇りをさえ覚えるものであります。さらに最近の世界的な資源危機を克服するに当たりまして、一番足場の弱い、条件の悪いわが国が、諸外国と比較いたしまして、いち早くこの克服の実績を上げつつあることに對しまして、掛値なしに誇りを覚えるものでございませう。

しかしながら、長い政権を保持している間に私ども自由民主党は、心の中に驕りが生じなかつたとはいえないのであります。われわれの精神のゆるみが生まれなかつたとはいえないのであります。政治や行政を担当する場合におき

まして、マンネリズムの通弊に陥っていなかったと断言するわけにはまいらないと思つております。心の驕り、精神のゆるみは、その結果、綱紀の弛緩をきたし、遂にそれは汚職といふことになってきたことをまのあたりに見まして、何とも申訳ないと存じております。

いま、全国の朝野でやかましく論議されておりますロッキード事件なるものも、まさにその一つであるといわねばならないと思つております。もとよりロッキード事件の真相は徹底的に究明しなければなりません。そして国法に照らして厳正に処理しなければならぬといふことは、わが党とわが党政府が、今日まで堅持してまいりました不動の方針でもあります。しかも、私をもって言わしむるならば、すでにこのことは国民的コンセンサスにまで結晶してまいりまして、いかなる政党が政権をあずかるつとも、またいかなる方が政権の座につかれようと、もはやこの国民的コンセンサスを揺るがすことはできないような状況になつてゐると思つてございます。事実この説明は、着々と進んでおります。物事には始めがあれば必ず終わりがあるものであります。この事件もやがて真相が解明され、国法に照らして措置すべきものが措置されるにちがいないと思つてありまして、われわれは、静かにその経過と結

果を見守つてまいらねばならないと考えているのであります。

ここでわれわれ政治家が、この経過のなかでまず何を為さねばならないかといふことであります。それはなんと申しましても、われわれは過去の業績を誇ることは、今日われわれが犯した過ちにたいして、襟を正して厳しい反省を自らに加え、謙虚な気持ちで国民にお詫びをするところから始めなければならぬのではないかと思つてございます。厳しい反省と謙虚な陳謝がなければ、政治の正義は生かされるものではありません。そしてこの反省と陳謝は、地位の高いものほど、責任の重いものほど、より深く、より真剣に考えねばならない政治的義務であると思つてあります。事実この事態に処して、自由民主党の一人一人が、深い厳しい反省の上に立つて、いま、真剣に検討されていることと確信するものでございます。そして、その最高峰にある総裁、総理は聡明なお方でございますから、最も深く苦悩され、最も真剣に憂えられ、いかにすればこの政治的責任が果たされるかについて真剣な検討がなされているものと私は確信するものでございます。

その次に、この局面に際しまして私どもが真剣に考えて実践しなければならぬことは何かといつて、政治的な対

応力、統治能力、近頃はやりの言葉で申しますならば、ガバナビリティー、その回復、強化であるうと思つのであります。なるほど今日、世界を見ましてガバナビリティーの弱まり、動揺ということが識者によって問われておりますことは、諸君もご承知のとおりでございます。それは体制のいかんを問わず、民度のいかんを問わず総ての国が直面している問題であつて、いかにして自らの国のガバナビリティーを確立して国民の期待に応えるかということに、各国の政府が腐心していることは、みなさまご案内のとおりでございますけれども、それにもかかわらず、その確立に成功している国は殆んどないと断言してもよい状態にありますことも、また、諸君ご承知のとおりでございます。教育の問題をとつてみましても、外交の問題をとつてみましても、インフレ物価の問題をとつてみましても、労働の問題をとつてみましても、あるいは、社会問題をとつてみましても、または、環境の問題をとつてみましても、いずれも、政府が全力をあげて対処してもなお足らない問題ばかりでございます。世界全体が異常なガバナビリティーの弱さに嘆いているのは、今日の実情でございます。

われわれは戦後、政治的には、ご案内のように自由主義陣営と社会主義陣営の両陣営に分かれ、米ソ両国をそれぞれ

れ宗主者として、冷たいバランスのとれた冷戦対立の時代をそうとう長く経過することができたわけでございます。ところが、いまや両陣営とも、果てしなく分極化してまいりましたばかりでなく、この両陣営に属さない国々が世界の大半を占める第三世界を形成するに至つております。さらに第三世界を形成することをもってなお足れりと思せず、その中にはさらに第四勢力が生まれつつあるといふような非常にめんどつな世界の構成になりつつあります。各民族国家が、そういうなかでどうして自らの安全と生存を確保するかに狂奔しながら、命がけの疼きの中にありますことはご案内のとおりであります。

社会的に見ましても、東西両陣営のいずれを問わず、かつてありました既成の秩序は動揺し、崩壊の過程にありますけれども、これに代わる新しい秩序は、まだ生まれてはいないのでございます。長幼の序、師弟の別、そういった秩序には、不幸な断絶がみられるようになっておりますことは、洋の東西、体制の如何を問わない状況にあります。

経済をとつてみますと、かつては金・ドル、安定したドルの価値の上にてたてられた堅牢な経済の秩序のうえに、安定した経済の運営が保障された時代がそうとう長く続いたのであります。ところが、数年前から金・ドル体制は、す

でに崩壊してしまいました、通貨制度は果てしないフロートの世界に陥ってしまっており、そういう状況のもとにおきまして、有限な資源を持つ資源保有国は、経済の原則を無視いたしまして、資源の値段をめぐらばうに引き上げるといふような措置が、二〇三三、四年の間に行なわれて、世界経済全体が大きな動揺のなかに呻吟いたしてあります。国際収支のアンバランスは、益々ひどくなっているような状況でございます。

各民族各国家が、そういう内外にわたる困難な状況の中で、自らの政権のガバナビリティーをどのようにして回復強化するかということが、いかにむずかしいものであるかということ、もとより明らかなきことでございます。わが日本もその例外ではないのでありまして、自由民主党とこの政府もまた、こういう問題に対しまして正しい手続きで、正しい時期に、国民の要望に的確に、果たして応え得ているかどうかということをお省いたしますならば、足りないことばかりなのでございます。しかし、われわれは評論家ではないのでありますから、世界的にむずかしい世の中だから仕方がないということで、放置しておくわけにはまいらないのであります。なんとしても、この弱まったガバナビリティーは強めなければならぬのであります。失われ

た力をとり戻すように努めることがわれわれの義務であります。

今日、わが国の状況はどうかと申しますと、前国会の状況をみなさまがご覧になれば明らかであると思っております。予算は年内に編成し、通常国会冒頭に提出いたしましたのでございますけれども、この予算は、ついに年度内に成立ができなくて、暫定予算でつなげなければならなかった。参議院におきましては、一日も予算審議ができないような状況にありましたことは、ご案内のとおりであります。しかも、その予算の成立さえ、自由民主党の主体的力によるのではなくて、五党首会談と両院議長の力を借りなければ、予算委員会の開会ができなかったというような状況でありましたことは、ついでこの間のことであつたのでございます。こういった状況は、国民の利害に近接している問題をかかえている政府といたしまして、いち早く是正しなければならぬことでございます。しかも、この前の国会では、特例公債法案を初めといたしまして、重要な法案が積残しになつてゐるわけでございます。こういった法案は、次の国会で通せばよろしいといふような単純なものではないのであります。こういった法案は、時を争つものでございます。今日、一日も早く成立させないと、財政の運営に支

障を来たし、経済の回復を失速させ、労働に不安を与え、社会不安さえ招来しないとも限らないようなゆゆしい問題でございます。こういう事態を行政府だけの力で回復せよといつても、行政府にはそういう権限が与えられていないのであります。したがって政治の力、その現われである国会のガバナビリティーは一日も早く回復されなければならぬのであります。国民のためにわれわれは一日も早く、このガバナビリティーの回復を念願いたしているのであります。もし、このガバナビリティーの回復のために何もしない者がありとするならば、政治的責任も怠っているといわねばならないと思つております。

どなたが今、政権の座におられようと、もしこういう状態でございますならばそれは許されぬことでございませぬ。どなたであっても、政治のガバナビリティーは、国民のために回復されなければならないのが今日の急務であります。私も、今日、この緊迫した事態において派閥的利害に狂奔しようなどという気持ちは毛頭ありません。また政権の争奪にうつつを抜かすほど愚か者ではないつもりでございます。国民のために一日も早くわれわれの国会と、われわれの政府は、この大事なガバナビリティーを国民のために回復しなければならぬと考えております。自由民

主党の同憂の士の念願するところは、そこにあることを全国民に理解していただかなければならないと思つております。そして自由民主党のみなさんが、一生懸命に事態の打開に私心を捨てて当たつていきますから、この問題は必ずや解決されるもの、と確信するものでございます。私もまた、宏池会の同志の先生方と相図り、党内同憂の士と提携しながら、この大事な任務に挺身して、ご期待に答えなければならぬと決心しております。

われわれは個人といたしましても、当然新たな決意で、厳しい謙虚な反省の上に立つて、公私にわたる生活態度で改めなければならぬものは、改めていかなければならぬ、と考えております。われわれ宏池会もまた、自由民主党内における歴史ある集団といたしまして、改むべきは改め、強めなければならぬ活動と機能は強めてまいらなければならぬと思つております。さらにわれわれは、自由民主党のなかにおいて、お互いに切磋琢磨し、お互いに毎日の情報を精確に交換しあわねばなりません。そして、お互いに助けあい、喜びも悲しみも分かちあう間柄であるよう努めております。そしてその念願とするところは、自由民主党のガバナビリティーが回復され、その信用が高められ、その政策企画力と実行力が強化されて、国民の期待に

より有効に應える体制をつくり上げることが、第一義的な義務であることは申すまでもないこととございます。そういう方針のもとで、私どもは何を為すべきであるか、何を為すべきでないか、宏池会の次元においても真剣な検討をいたしているところでございます。

われわれは個人といたしましても、同志の一員といたしましても、さらには自由民主党の黨員といたしましても、ここに新たな決意をもって新たな事態に、新たな勇氣を持つて臨まなければならない、と考えているわけでございます。それは、私どもの政治的野望を満たすべきものでもなければ、私どもが既成の体制の上で引き続きマンネリズムにひたろうとするものでもありません。国民のために、われわれが厳しい対応力をいかにして發揮するかという一点にしぼって真剣な努力をやってまいることこそが、われわれの任務であると私どもは考えているわけでございます。

諸君のいっそうのご理解と、そして諸君のご鞭撻を切にお願いいたします。全国津々浦々にありまして、草の根を分けて、諸先生を助けながら、日本の未来を築くためにご努力をたまわっている諸君に、いっそうの勇氣をもってご奮発をたまわれますよう、諸君のご健勝といっそうのご発展をこいねがって、私のご挨拶を終わらうと思ひます。